

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月27日

上場会社名 日本電気硝子株式会社

上場取引所 東大

コード番号 5214 URL <http://www.neg.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 有岡 雅行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 阿閉 正美

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

TEL 077-537-1700

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	235,050	△14.9	62,587	△17.6	57,177	△19.0	35,259	△11.7
21年3月期第3四半期	276,045	—	75,987	—	70,617	—	39,913	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	70.88	—
21年3月期第3四半期	80.24	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	633,027	384,175	60.1	764.92
21年3月期	588,413	352,744	59.3	701.62

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 380,525百万円 21年3月期 349,043百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年3月期	—	5.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	5.00 ～6.00	10.00 ～11.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	325,000 ～335,000	△3.2 ～△0.2	92,500 ～97,500	21.0 ～27.6	85,500 ～90,500	32.9 ～40.7	52,500 ～55,500	140.5 ～154.2	105.53 ～111.56

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

当社は5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報に記載のとおりレンジ形式により開示しています。

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- |                 |   |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更        | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                      |             |              |             |              |
|----------------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  | 22年3月期第3四半期 | 497,616,234株 | 21年3月期      | 497,616,234株 |
| ② 期末自己株式数            | 22年3月期第3四半期 | 145,521株     | 21年3月期      | 131,778株     |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第3四半期 | 497,477,403株 | 21年3月期第3四半期 | 497,446,843株 |

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、当社が合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。詳細は5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

[第3四半期累計期間]

## (1) 概況

世界経済は、アジアでは中国において内需を中心に景気が回復基調をたどりました。また、米国や欧州では、景気は引続き深刻な状況にあるものの、経済対策の効果もあり下げ止まりの動きが見られました。

日本では、輸出がアジア向けを中心に増加するとともに、経済対策の効果などにより個人消費に持ち直しの動きが見られましたが、企業収益や雇用情勢は依然厳しく、設備投資や住宅投資も低迷するなど、景気は厳しい状況が続きました。

このような状況下、当社グループにおいては得意先業界の需要回復を背景にフラットパネルディスプレイ（FPD）用ガラスの販売が復調してまいりました。その他の事業分野については、全般的に回復の進捗は緩やかなものとなる中、いくつかの領域で業績が改善に向かいました。

## (2) 経営成績

	前第3四半期累計期間 (20/4～20/12) (億円)	当第3四半期累計期間 (21/4～21/12) (億円)	増減 (%)
売上高	2,760	2,350	△14.9
営業利益	759	625	△17.6
経常利益	706	571	△19.0
純利益	399	352	△11.7

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

## (売上高)

販売は、前年度第4四半期（平成21年1月1日～3月31日）を底に第1四半期から第3四半期にかけて持ち直してきましたが、売上高は前年同期を下回りました。

## ・ディスプレイ用ガラス：

FPD用ガラスの販売が復調する一方で、ブラウン管用ガラスの市場が一段と縮小し、販売が減少しました。

## ・電子部品用ガラス：

光通信関連やイメージセンサ用ガラスを中心に、販売は緩やかな回復基調をたどりました。

## ・ガラスファイバ：

主力の自動車部品向けの販売が持ち直してきました。

## ・建築・耐熱・照明薬事用その他：

国内外の住宅・建築需要の低迷の影響を受け、販売は振るいませんでした。

## (損益面)

前年同期との比較では減益となったものの、FPD用ガラスの販売回復や稼働の引き上げ、生産性改善による効果などにより、四半期毎に損益は改善してまいりました。なお、特別損失として、資産の整理に伴う固定資産除却損や中国子会社の解散に係る関係会社整理損が発生しました。また一方で、同子会社に係る税効果が生じ、純利益の押し上げ要因となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

	前期末 (平成21年3月31日現在) (億円)	当第3四半期末 (平成21年12月31日現在) (億円)	増減 (億円)
総資産	5,884	6,330	446
負債	2,356	2,488	132
純資産	3,527	3,841	314

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

(総資産)

流動資産では、現金及び預金が増加し、また、販売の復調に伴い受取手形及び売掛金が増加する一方で商品及び製品が減少しました。固定資産では、FPD用ガラス関連設備を中心に有形固定資産が増加しました。

(負債)

流動負債では、稼働の増加により支払手形及び買掛金が増え、利益の回復により未払法人税等が増加しました。また、1年内償還予定の社債が満期償還により減少しました。固定負債では、新たに社債を発行しました。

(純資産)

利益剰余金が増加したほか、株式市況の回復によりその他有価証券評価差額金が増加しました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

	21年3月期 (20/4～21/3) (億円)	22年3月期 (21/4～22/3) (億円)	増減 (%)
売上高	3,356	3,250～3,350	△3.2～△0.2
営業利益	764	925～975	21.0～27.6
経常利益	643	855～905	32.9～40.7
純利益	218	525～555	140.5～154.2

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

第4四半期に関しましては、FPD用ガラスについては概ね堅調な需要が見込まれます。当社といたしましては、需要動向に即した稼働を行うとともに、生産性の改善やコスト低減を推進することにより収益性の向上を図ってまいります。その他の事業分野については、一部の製品で復調を見込むものの、全体として本格的な回復にはなお時間を要するものと考えております。引き続き、それぞれの市場動向に対応しつつ収益性の改善に取り組んでまいります。これらの状況を踏まえ、第4四半期の業績は、第3四半期を幾分上回るものと見込んでおります。

第3四半期累計期間(平成21年4月1日～12月31日)までの業績に上記見込みを合わせ、平成22年3月期業績については、上表のとおり売上高は前期を下回るものの、利益面に関しては、いずれも前期を上回る見込みです。

なお、当社を取り巻く事業環境は変化が激しく、今後の製品の需給や価格の動向などによる業績への影響が大きいため、先行きの業績を的確に予想することが困難な状況にあります。つきましては、平成22年3月期の連結業績予想をレンジ形式により開示させていただきます。諸要素が当社の想定(期初計画)よりも上振れる(好転する)形で推移した場合はレンジの上限に近づき、逆に下振れる(悪化する)形で推移した場合はレンジの下限に近づくものと予想しております。

(業績予想の開示について)

証券取引所が定める適時開示基準に基づく開示に加えて、投資家の皆さまに、より迅速・適切な業績情報をご提供するべく、以下の要領で業績予想をお知らせします。

予定時期	内 容	
	当期(累計ベース)業績見込み (数値開示)	次期(四半期ベース)見通し (売上高・営業利益をレンジ開示)
6月下旬	第1四半期	第2四半期
9月下旬	第2四半期	第3四半期
12月下旬	第3四半期	第4四半期
3月下旬	通期	第1四半期

本資料に記載されている業績予想は、当社が合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素としては、世界の市場における経済情勢、貿易規制などの各種規制、主要市場における製品需給の急激な変動、資本市場での相場的大幅な変動、ドル・ユーロなど対円為替相場や金利の大幅な変動などの金融情勢、急激な技術変化などが含まれますが、これ以外にもさまざまな要素があります。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している有形固定資産について、年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しています。

繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化がなく、かつ、一時差異等の発生状況に大幅な変動がない場合は、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっています。また、前連結会計年度末以降に経営環境等や一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっています。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

税金費用の計算

当第3四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しています。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	104,138	96,693
受取手形及び売掛金	75,568	47,166
商品及び製品	20,419	25,585
仕掛品	1,737	1,348
原材料及び貯蔵品	14,856	15,317
その他	12,461	14,552
貸倒引当金	△860	△601
流動資産合計	228,322	200,062
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	268,114	264,578
その他(純額)	105,660	98,281
有形固定資産合計	373,774	362,859
無形固定資産	705	934
投資その他の資産		
その他	30,514	24,937
貸倒引当金	△288	△380
投資その他の資産合計	30,225	24,557
固定資産合計	404,705	388,351
資産合計	633,027	588,413
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,743	30,035
短期借入金	62,836	64,894
1年内償還予定の社債	—	20,000
未払法人税等	17,533	1,348
引当金	145	222
その他	41,828	49,139
流動負債合計	160,088	165,640
固定負債		
社債	20,000	—
長期借入金	41,635	44,988
特別修繕引当金	25,054	23,132
引当金	1,839	1,790
その他	235	118
固定負債合計	88,764	70,029
負債合計	248,852	235,669

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,155	32,155
資本剰余金	34,357	34,358
利益剰余金	320,346	290,061
自己株式	△209	△196
株主資本合計	386,650	356,378
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,851	1,410
繰延ヘッジ損益	△52	10
為替換算調整勘定	△8,924	△8,757
評価・換算差額等合計	△6,125	△7,335
少数株主持分	3,650	3,700
純資産合計	384,175	352,744
負債純資産合計	633,027	588,413



(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	276,045	235,050
売上原価	180,115	157,517
売上総利益	95,929	77,532
販売費及び一般管理費	19,942	14,945
営業利益	75,987	62,587
営業外収益		
受取利息	—	250
受取配当金	285	178
その他	1,150	578
営業外収益合計	1,436	1,006
営業外費用		
支払利息	1,293	1,236
為替差損	2,253	—
固定資産除却損	1,553	978
休止固定資産減価償却費	—	1,883
その他	1,705	2,317
営業外費用合計	6,806	6,416
経常利益	70,617	57,177
特別利益		
前期損益修正益	42	—
固定資産売却益	—	249
その他	6	9
特別利益合計	48	258
特別損失		
固定資産除却損	1,995	2,341
投資有価証券評価損	1,290	—
関係会社整理損	—	1,405
その他	2	322
特別損失合計	3,289	4,069
税金等調整前四半期純利益	67,376	53,367
法人税等	26,993	18,159
少数株主利益又は少数株主損失(△)	470	△51
四半期純利益	39,913	35,259

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	67,376	53,367
減価償却費	32,910	34,858
売上債権の増減額 (△は増加)	25,732	△28,544
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△9,770	5,284
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,759	5,699
法人税等の支払額	△48,134	△8,602
法人税等の還付額	—	4,759
その他	6,339	4,466
営業活動によるキャッシュ・フロー	78,212	71,287
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△1,003	△983
投資有価証券の売却による収入	—	989
固定資産の取得による支出	△106,565	△57,939
その他	△762	△635
投資活動によるキャッシュ・フロー	△108,331	△58,568
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,291	△3,864
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	—	3,000
長期借入れによる収入	38,215	—
長期借入金の返済による支出	△1,914	△1,588
社債の発行による収入	—	20,000
社債の償還による支出	—	△20,000
配当金の支払額	△4,973	△4,975
その他	△954	△34
財務活動によるキャッシュ・フロー	28,082	△7,462
現金及び現金同等物に係る換算差額	△634	△41
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,671	5,214
現金及び現金同等物の期首残高	101,046	94,623
現金及び現金同等物の四半期末残高	98,375	99,838

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## ①事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年12月31日）

当社グループ（当社及び連結子会社）の事業は、「ガラス事業」と「その他」に区分できますが、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める「ガラス事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しています。

## ②所在地別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	232,047	176,988	2,229	411,265	(135,219)	276,045
営業利益	70,714	4,783	148	75,646	340	75,987

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	213,535	157,300	1,431	372,267	(137,216)	235,050
営業利益	61,867	3,129	17	65,014	(2,427)	62,587

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しています。

2. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

3. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア …………… マレーシア、中国、韓国、台湾

(2) その他の地域 …………… 米国

## ③海外売上高

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年12月31日）

	アジア	その他の地域	計
海外売上高 (百万円)	175,134	15,293	190,428
連結売上高 (百万円)			276,045
連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	63.5	5.5	69.0

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年12月31日）

	アジア	その他の地域	計
海外売上高 (百万円)	155,639	8,027	163,667
連結売上高 (百万円)			235,050
連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	66.2	3.4	69.6

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しています。

2. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

3. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア …………… マレーシア、中国、韓国、台湾

(2) その他の地域 …………… 欧州、米国

4. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

## 6. 販売の状況

事業の種類別 セグメント	部門	項目	前第3四半期 連結累計期間 (20/4～20/12)		当第3四半期 連結累計期間 (21/4～21/12)		増減	
			金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	比率 (%)
ガラス 事業	情報・ 通信関 連部門	ディスプレイ用ガラス	214,626	77.8	192,171	81.8	△22,455	△10.5
		電子部品用ガラス	10,240	3.7	8,298	3.5	△1,942	△19.0
		計	224,867	81.5	200,470	85.3	△24,397	△10.8
	その他 部門	ガラスファイバ	25,527	9.2	15,408	6.6	△10,119	△39.6
		建築・耐熱・照明薬事用その他	24,477	8.9	18,355	7.8	△6,122	△25.0
		計	50,004	18.1	33,764	14.4	△16,240	△32.5
ガラス事業計		274,872	99.6	234,234	99.7	△40,638	△14.8	
その他		—	1,173	0.4	815	0.3	△358	△30.5
合計			276,045	100	235,050	100	△40,995	△14.9

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しています。  
2. 上記の金額は、セグメント間取引の相殺除去後の数値です。